

Segue通信

第12期事業報告

2025年1月1日~2025年12月31日

Security &
IT-infrastructure





Top Interview

代表取締役社長 **愛須 康之**

事業基盤の強化と成長投資が実を結び、
業績は計画を上回るペースで推移しています。
中期経営計画最終年度となる2026年12月期も、
着実な成長と企業価値向上を目指して挑戦を進めてまいります。

Q 2025年12月期の業績の評価をお願いします。

2025年12月期は、売上が250億円を超え、営業利益19億円、経常利益20億円といずれも良好な業績を達成することができました。これは、2026年12月期を最終年度とする中期経営計画「Segue300」で掲げた売上・利益水準にほぼ近づく成果であり、大きな成果を出せた事業年度であったと評価しております。

この成長の背景には、数年前より進めてきたパートナー戦略の強化や、中央省庁を含む公共分野の案件獲得に向けた事業部門の強化および体制整備があります。2024年は成果が限定的であったものの、準備を重ねた結果、2025年には大型案件の受注が実現し、その取り組みが結実しました。

ガバメントソリューションサービスの超大型案件については、一過性の成果にとどめることなく、2026年以降も継続的な受注を目指してまいります。

SI事業では、大手旅行代理店向けシステム案件が業績に大きく貢献しました。一方で技術者の人件費上昇や競争環境を踏まえ、今後は利益率の改善にも注力してまいります。また、セキュリティ事業および自社開発の「RevoWorks」は、

成果の本格化が2026年以降となるものの、着実な成長を続けており、新製品の提供開始を通じてさらなる拡大をはかります。

これらの成果は、長年にわたり積み重ねてきたお客様・パートナー・メーカー各社からの信用力と、社会的なDX・サイバーセキュリティ需要の高まりが後押ししたものです。今後も持続的成長に向けた事業活動を着実に取り組んでまいります。

Q 中期経営計画の進捗状況を教えてください。

中期経営計画の進捗については、全体として非常に順調であり、計画の確実性が一段と高まっていると評価しています。2025年は、期初予算売上高225億円、営業利益12.6億円という計画でスタートしましたが、事業の成長が想定を上回り、8月、さらに2026年1月と二度にわたる上方修正を行いました。この結果は、当社の事業モデルが評価されてきていることを示すものだと考えております。

こうした成長は継続しており、2026年に入ってから良好な流れを維持しています。このため、2025年に培った成長の勢いを今年度にもしっかりと引き継ぎ、さらに成長していけるも

のと見込んでおります。

中期経営計画「Segue300」の最終年度となる2026年は、M&Aを含めたチャレンジ目標として、売上高300億円、営業利益20億円を掲げていました。M&Aについては規模感のあるものは実現しておりませんが、M&Aを行わない場合でも、2026年の上方修正後の目標値である売上高300億円、営業利益23億円の達成は十分に現実的であると見ています。

また2026年は、次期中期経営計画（2027～2029年）に向けた事業の仕込みや新規事業への投資を進める重要な年でもあります。次期中期経営計画に向けた投資を行いつつ、現期中期経営計画のチャレンジ目標の達成とともに、確かな成果を出していきたいと考えております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

この3年間で、セグエグループは大きな成長を遂げてきました。数字面での拡大はもちろんのこと、事業基盤の強化や営業・技術を中心とした社員の成長が確実に進んだこと、さらにはシニア人材の採用が功を奏し、2年目より確かな結果を出していることは経営として大きな成果だと感じています。継続的に従来の何

倍もの大型案件を受注できるだけの営業・技術体制が取れたことによる、顧客・パートナーとの信頼関係を築けたことにも、確かな手応えを得ています。

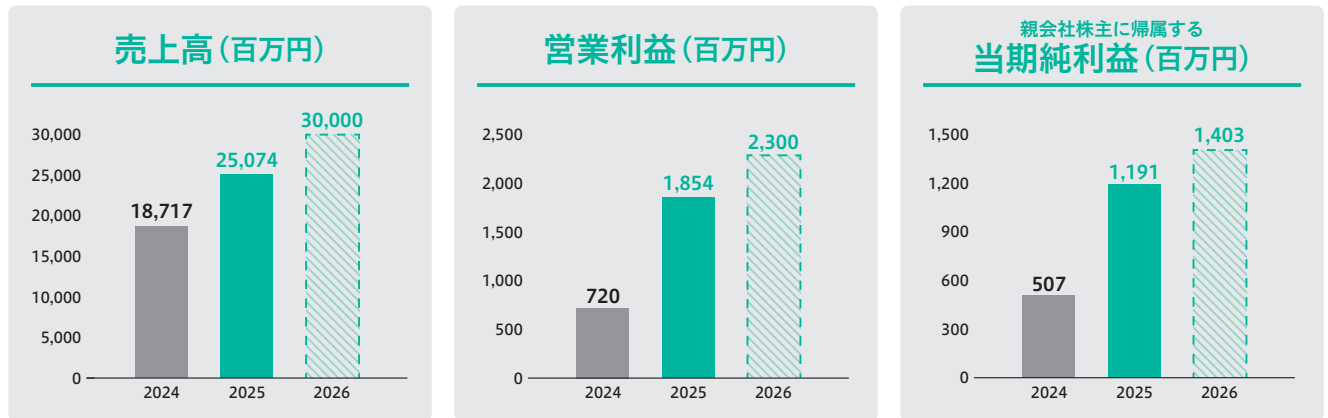
2025年は、これまで数年にわたり行ってきた投資の成果が大きく表れた一年でした。ガバメントソリューションサービス案件をはじめとする受注の積み上がりや、海外の有力メーカーとの新たなビジネス機会の創出など、今後につながる取り組みが数多く進展しています。一方で、2025年に受注した超大型案件については一部受注残となっておりますが、2026年第1四半期以降、売上として具体的な成果が表れてくる見込みです。

自社開発製品「RevoWorks」についても、自治体に加え、府省庁や政府機関からの受注が拡大しており、2026～2027年度には本格的な収益貢献が期待されています。さらに、AI技術を活用した新たなサービスの提供も目前に控えています。

中期経営計画「Segue300」の達成、そしてその先の新たな中期経営計画に向け、今後も安全で快適なITインフラとセキュリティを核に、企業価値の向上に全力で取り組んでまいります。今後のセグエグループに、ぜひご期待ください。

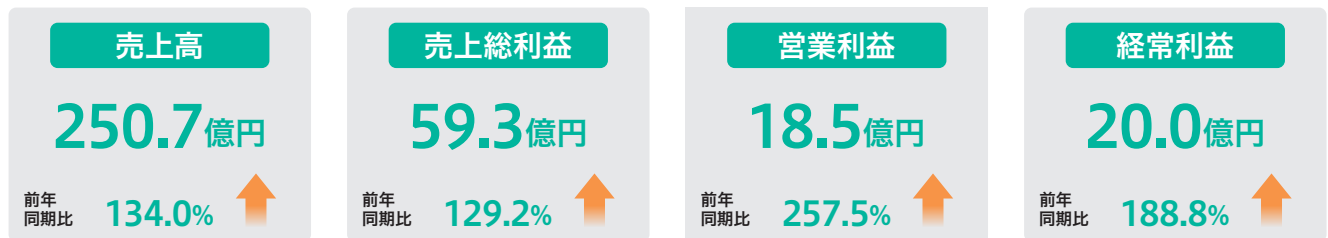
中期経営計画“Segue300”の進捗

2024年度に掲げた中期経営計画目標を、営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに上方修正し、既存事業の堅調な拡大により売上高も着実な成長軌道にあります。収益性の向上と事業規模の拡大を両立させながら、最終年度となる2026年度に向けて計画達成を目指してまいります。



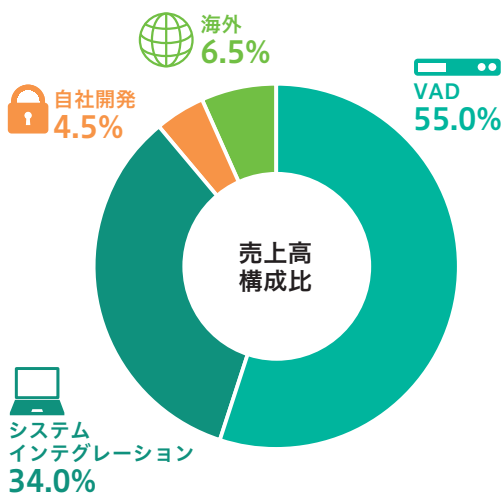
ハイライト・業績概要

売上高および各段階利益項目において過去最高値を大幅に更新！超大型の政府系案件（GSS案件）の売上計上により業績が大幅伸長。対前年同期比営業利益は約2.6倍・経常利益は約1.9倍と大幅な増益を達成しました。また、収益基盤が強化され、各段階利益の伸長につながりました。



売上高：GSS案件や他大型案件の受注によってVADビジネスを中心に好調に推移 売上総利益：売上高の大幅伸長により増益
 営業利益：売上総利益の大幅な増加に加え販管費の最適化を主な要因とし過去最高益に 経常利益：営業利益の大幅な増加に加え、保有する投資有価証券の売却等により過去最高益に

ビジネス別数値



VAD：GSS案件及び複数の大型案件の売上計上により大幅増収し業績をけん引
 システムインテグレーション：大型案件獲得が寄与したものの、他の一部大型案件が利益率押し下げの要因に
 自社開発：ストック型売上のRevoWorksクラウドやセグエセキュリティのサービスが着実に伸長し売上高は堅調に推移したが、一部案件の売上計上が来期となったため軟調基調
 海外：First One Systemsが加わり、売上高・売上総利益ともに増加

セグエグループの事業と強み

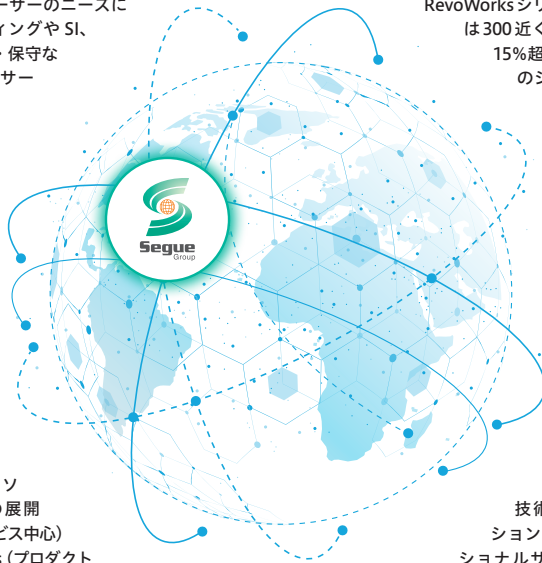
セグエグループは快適で安全なIT基盤を提供し 社会に貢献する企業グループです

当社グループは、従業員の約7割を技術者が占める、IT及びセキュリティの技術者集団です。専門性の高い海外セキュリティ製品やITインフラ製品の技術を持ち、提案から構築、保守、運用支援に至るまでのトータルサービスを提供しています。その技術力を生かしセキュリティ関連ソフトウェアやセキュリティサービスの開発を行い、情報セキュリティ & ITインフラを統合した『唯一無二のトータルセキュリティソリューションカンパニー』を目指しております。

トータルセキュリティソリューション

VADビジネス

ITの商材やライセンスを販売するだけでなく、システムインテグレータ等、システム元請け会社とともに、営業活動や提案力、技術力向上の取り組みをサポートし、ユーザーのニーズに沿って、コンサルティングやSI、カスタマイズ、運用・保守など、付加価値のあるサービスを提案。



タイ王国でのITソリューション事業の展開
ISS Resolution(サービス中心)
+ First One Systems (プロダクト中心) 2社のシナジー効果の創出やジェイズ・コミュニケーションの自社製品等ビジネスをタイで展開していく。将来はASEAN 全域へ。

海外ビジネス

自社開発

自社オリジナルのセキュリティプロダクト、セキュリティサービスの企画開発、販売、サポートサービスを展開。

RevoWorksシリーズの販売については300近くの自治体(全自治体の15%超)に納入し、TOPクラスのシェア。

技術力によるITソリューション事業の展開プロフェッショナルサービスを中心として、システムインテグレーションを展開。ITインフラ機器、クラウド基盤等顧客の要望に応じたソリューションを提供。

SIビジネス

成長戦略

海外企業とのアライアンスによるセキュリティプロダクトの拡充

RevoWorks、セキュリティサービス(SOC等)を含む製品 & サービスの拡充

ITインフラ×セキュリティの強化に向けたDX、生成AI開発、ITエンジニアの増強

専門的技術集団(数と質の向上)による、セキュリティ技術の増強



ビジネスピックアップ

1 RevoWorks ZENMU-Storageの展開

ZenmuTechの秘密分散技術を活用した「RevoWorks ZENMU-Storage」を展開し、重要データを安全に利活用できる環境を提供しています。情報漏えいリスクの低減とPPAP対策を両立するソリューションとして、企業のセキュリティ強化ニーズに応えています。

3 主要海外メーカーからの受賞による評価

ネットワーク分野では、Juniperは前年に続き安定して受賞を継続。Ruckusもこれまで培ってきた実績と評価を背景に、加えて新たなメーカーからの受賞も重ね、着実な成長と信頼の広がりを示しました。

2 AIを活用した「RiskLoom™」の提供開始

セグエセキュリティは、独自のAIを活用したセキュリティ規程文書診断サービス「RiskLoom™」の提供開始を予定しています。AIにより規程文書を分析し、ガイドライン対応評価と改善点抽出の自動化を実現する、レビュー効率化支援サービスの開発を進めています。

 JUNIPER NETWORKS Japan Partner Driven Distributor of the Year 2024	 RUCKUS NETWORKS Distributor of the Year 2024
 Extreme networks FY26 Diamond Elite Partner	 FORTRA Long-standing Excellence Partnership

第12期定時株主総会決議ご通知

当社は2026年3月25日(水)に第12期定時株主総会を開催し、下記のとおり報告並びに決議されました

報告事項

- 第12期(2025年1月1日から2025年12月31日まで)事業報告の内容及び連結計算書類の内容及びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第12期(2025年1月1日から2025年12月31日まで)計算書類の内容報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件 原案のとおり承認可決されました
- 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)4名選任の件 原案のとおり承認可決されました
- 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件 原案のとおり承認可決されました
- 第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件 原案のとおり承認可決されました

会社情報/株式情報(2025年12月31日現在)

■会社概要

商号 セグエグループ株式会社
本社所在地 東京都中央区新川一丁目16番3号
資本金 528,629,880円
従業員数 712名(連結)

■株式の状況

発行可能株式総数 108,000,000株
発行済株式総数 32,564,077株(自己株式360,700株を含む)
株主数 13,031名

■役員(2026年3月25日現在)

代表取締役社長 愛須 康之
取締役 渡邊 辰夫
取締役 小林 剛
社外取締役 三露 正樹
取締役(監査等委員) 福田 泰福
社外取締役(監査等委員) 寺田 有美子
社外取締役(監査等委員) 高田 隆太郎

■大株主

氏名または名称	所有株式数	持株比率
愛須 康之	9,778,300株	30.36%
有限会社エーディーシー	2,812,800株	8.73%
セグエグループ従業員持株会	611,700株	1.89%
株式会社オービック	576,000株	1.78%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	503,588株	1.56%
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	458,500株	1.42%
株式会社SBI証券	363,572株	1.12%
佐伯 知輝	302,400株	0.93%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	290,500株	0.90%
田中 博章	270,000株	0.83%

(注)1. 持株比率は、当社が保有している自己株式360,700株を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて記載しております。
2. 自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)」導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式458,500株は含まれておりません。

株主メモ

証券コード 3968
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 毎年12月31日
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL: <https://segue-g.jp/>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 千代田区丸の内一丁目3番3号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒168-8507
郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

株主の皆さまへ

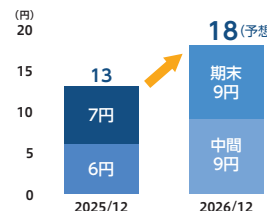
株主優待制度の見直しにつきまして

2025年11月27日に開示の通り、2025年12月期の優待制度は以下の通りです。
対象の株主様には今回の優待制度について「株主優待のご案内」を本紙に同封しておりますのでご確認ください。
今回に限り、QUOカードもお選びいただけます。

- 最低保有単元:10単元(1,000株)
- 基準日:毎年12月末
- 金額:10,000円分のデジタルギフト

ただし、同年6月末にも同じ株主番号で最低保有単元を保有していただいていた場合は10,000円分を追加(計20,000円分)
*2026年12月期以降の優待制度につきましては当社ホームページに掲載しております2026年1月23日の開示資料をご参照ください。

配当は+5円の増配を予定



業績に関する詳細は、IRサイトをご覧ください
決算短信、決算説明会資料などを掲載しております。

<https://segue-g.jp/ir/>

セグエ IR

検索

